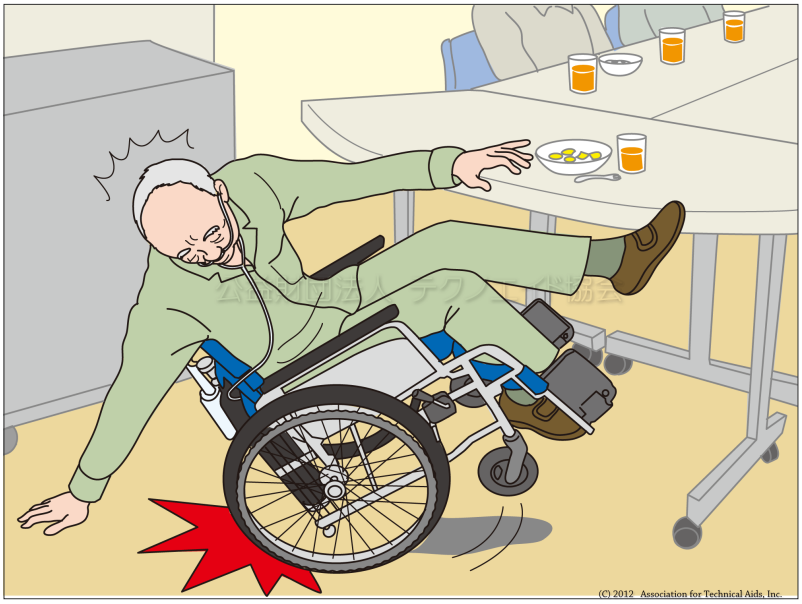
Case：121

酸素ボンベの重みでひっくり返りそうになる

場面の説明

酸素ボンベの重みで、車いすの重心が後方寄りになっていることを意識せず、勢いよく座ってしまった



利用シーン	立ち座り
主な利用場所	ダイニング・食堂
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122106(後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

車いすの後方への転倒は意外に多く発生しているヒヤリ・ハットです。危険度合いは車いすの重心位置に関係し、このような事象の起こりやすい車いすには転倒防止バーが付属していることが一般的です。製品自体は安定性の高い車いすでも、酸素ボンベや呼吸器などの後付けで重心位置が変わり、転倒の危険が増しているとの認識を持つことが大切です。

参考要因

人：勢いよく座ってしまった
モノ：酸素ボンベの重みで重心位置が後方寄りになっていた
モノ：転倒防止バーがついていない車いすだった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.